

## 宇都宮市立雀宮中学校 第2学年 生徒質問紙調査

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

#### 【家庭学習】

○「勉強していて面白い、楽しいと思うことがある」の問いでは、48.9%が「はい」と回答した。これは市より4.6ポイント、県より8.2ポイント高い。また、「不思議だな」「なぜだろう」と感じることがあると答えた生徒が83.9%いたことから、学習することへの関心が高いことが分かる。各教科の課題に、関心を高めるような工夫を行い、主体的に学習する姿勢を身に付けさせたい。

●「家で、自分で計画を立てて勉強している」では肯定的な回答が59.8%であった。市より3ポイント、県より3.8ポイント下回っている。学習の内容としては復習を行っている生徒が7割程度いる。予習を行っている生徒は3割にとどまっている。また、「自分で考えた勉強をしているか」については、肯定的な回答が54.6%で、市、県の値を下回っている。家庭学習にかけける時間は週末も平日も1時間以上2時間未満が多く、1時間より少ないと答えた生徒が3割程度いる。家庭学習が自分の計画で行われるようになれば質的にも量的にも充実したものになると考えられるので、学習の仕方や家庭学習のねらいなどを学ぶ機会をつくり、勉強が面白い、楽しいと感じられる生徒が増えるように指導していきたい。

#### 【授業等】

○授業では、話し合いや発表の機会に自分から進んで取り組んでいる生徒が多く、話し合いや発表等の活動を安心してできる環境もほぼできている。一方、自分の考えを文章にまとめて書くことに難しさを感じている生徒が70%以上いることから、各教科で話し合いや発表などの機会を積極的に取り入れ、抵抗感を取り除く工夫をしていきたい。

#### 【家庭での生活習慣等】

○「朝食を毎日食べる」や「寝る時間が決まっている」では、肯定的な回答が8割を超え、生活リズムが整っている生徒が多いことがわかる。また、TV、DVD、動画をみている時間も2時間以上3時間未満が3割程度を占め、携帯電話の使用は県・市とほぼ同じ結果になっている。携帯電話でのメール等の時間は1時間未満が54.5%と、市や県とほぼ同じ程度であった。

#### 【家族関係】

○「家の人に学校のできごとや学習、将来のことについて話している」生徒が8割前後と多く、家庭での良好なコミュニケーションがうかがえる。家の人に認められていることで自分が家族の大切な一員である自覚をもち、家族としてきまりや約束を守ろうという意識をもっている。「家でのきまりや約束を守る」では89.1%の生徒が肯定的な回答をしており、県・市より高い結果となっている。

#### 【自己肯定感】

●「自分は勉強がよくできる」「自分にはよいところがある」の回答では、勉強についてが35%、よいところでは81.6%となっている。学習面で自信をもてるように目標と振り返りを行い、自分の学習を把握できるように各教科での授業改善を行いたい。

#### 【人間関係】

○「人と話すことは楽しい」で肯定的な回答が93.7%であった。また、「思いやりの心をもって接している」「自分のよさを人のために生かしたい」と考えている生徒が9割を超えている。広く周りの人と良好な関係を築くために、学校行事や学校生活全般で機会を増やしていきたい。

#### 【各教科への関心等】

●「授業の内容がよくわかるか」と「授業が好きか」は相関性が見られず、さらに「大切な」の問いでは教科によって大きな開きがある。学習したことが将来の自分にどのように役立つかはすぐにはわからないものであることを伝えることと併せて教科間の連携を積極的にとり、相互に関連した学習内容があることに気づかせる授業の工夫を行ってきたい。

## 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・家庭学習を通じた基礎基本の確実な定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日1ページの学習内容を自分で考え、取り組ませている。</li> <li>・毎日学年の教師が学習内容をチェックし、学習内容や方法に問題がある場合は指導する。また、生徒会学習委員会でクラスごとの提出率を計算し、提示する。</li> <li>・土日の家庭学習はAIDリルを使って繰り返し学習できるようにする。</li> <li>・学校園の学習指導部で家庭学習ノートや取り組みを紹介しあい、よいところを学びあう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分で考えた勉強をしている」で肯定的な回答が54.6%と低く、市・県を下回っている。</li> <li>・「家庭での学習時間」が2時間未満の生徒が平日も土日も7割を超える。</li> </ul>

### ★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「勉強していておもしろい、楽しいと思うことがある」に肯定的に回答した生徒が50%を切っている。</li> <li>・「自分の考えを文章にまとめて書くことは難しい」と感じている生徒が70%以上いる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が興味、関心をもって取り組める課題・活動の研究</li> <li>・自分の考えをまとめ、記述する指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のまとまりの中で、興味・関心をもって取り組める学習活動を研究・共有する。</li> <li>・ミニ研究授業や教科部会などで、授業の中での「自分の考えを書く活動」や「話し合い活動」などを積極的に取り入れ、効果があつた取り組みを共有する。</li> </ul>